

# 日本共産党摂津市会速報

NO.111号

2010年 3月 7日  
発行 日本共産党摂津市会議員団  
☎06(63383)1111  
072(6338)0007  
内線(3344)3346  
X-MAIL info@settu.jp-webnet

## 【2010年度予算(案)】

市民の願いに応える前進もり込む一方で  
いっそづつの市民サービス切り捨て

公的仕事の縮小・職員削減

「第4次行財政改革実施計画(案)」

先月23日から始まった市議会(第1回定例会)ですが、冒頭に市長から「2010年度の市政運営の基本方針」が述べられました。景気低迷が続く中で市民生活に最大限配慮が必要だと、値上げが心配されていた国民健康保険料は据え置きに、そして水道料金は値下げを断行する・・・と、私たち共産党議員団が市民の皆さんと訴えてきたものが一定、盛り込まれる中身となっています。

しかし同時に示された、今後5年間の『第4次行財政改革実施計画案』では、市民サービスのいっそづつの切り捨てと公的仕事の縮小が予想され、これまで1998年から第1次、第2次、第3次と続けられてきた行革による負担増が12年間で161億円にも上っていることから、決して認められるものではありません。

今回、3月8日おこなわれる本会議では、山崎雅教議員が代表質問に立ち、この間の「市政報告懇談会(写真・3月2日開催)」で、たくさん出されたご意見や、市民の皆さんから口頭寄せられている声を盛り込み訴えていく予定になっています。議場への傍聴にもぜひお越しください。

<議会日程> いずれも開会時間は午前10時から	
3月 8日(月)	本会議 (代表質問1日目)
9日(火)	本会議 (代表質問2日目)
11日(木)	常任委員会 (建設・民生)
15日(月)	常任委員会 (総務・文教)
16日(火)	(委員会予備日)
17日(水)	(委員会予備日)
18日(木)	駅前等再開発特別委員会
26日(金)	議会運営委員会
30日(火)	本会議 (委員長報告、採択) 議会運営委員会



### 3月8日 山崎まさかず議員の代表質問 項目

1. 市民にとって最も身近な自治体としての基本方向について
  - (1) 森山市政6年間について
  - (2) 新年度予算が市民のくらしと雇用を守り応援する予算になっているか
  - (3) 第4次行財政改革実施計画と財政運営について
  - (4) 新総合計画の策定について
2. 市民のくらしを守る具体的な問題について
  - (1) 国民健康保険について
  - (2) 生活保護の取り組みについて
  - (3) 後期高齢者医療制度について
  - (4) 障害者自立支援法の改善方向と本市の取り組みについて
  - (5) 介護保険制度と地域包括支援について
  - (6) 保育所保育料や住民税の減免制度の実施に向けて
  - (7) 緊急に対応可能な貸付金制度の創設について
3. 地元商工業の振興、不況対策について
  - (1) 商業活性化条例における自治体の積極的役割について
  - (2) 需要の喚起にもなる住宅リフォーム助成の実施と、小規模工事等希望者登録制度の拡充について
  - (3) 市独自の融資制度の利用実態と制度拡充について
4. 子育て支援と教育の充実について
  - (1) 摂津市の子育て支援策の方向性について
  - (2) 子どもの学力保障について
  - (3) 学校給食の民間委託について
  - (4) 日の丸・君が代の押しつけはやめること
5. まちづくり、環境について
  - (1) 生活道路と歩道の改善、市内バス路線の見直し、検討について
  - (2) 旧三宅・味舌小学校跡地を保有し、活用することについて
  - (3) 南千里丘開発について
  - (4) 吹田操車場跡地開発とクリーンセンター問題について
  - (5) 総合計画の策定に合わせ、以前から提案している「小学校ごとのまちづくり委員会」の設置について
  - (6) 環境アセスメント条例の制定について

## 日本共産党 5人の議員団



野口 ひろし  
☎072(6334)0807



山本 やすいち  
☎06(63349)3397



安藤 かおる  
☎072(653)0715



山崎 まさかず  
☎06(6381)7165



ひろ 豊  
☎06(6381)6301

# いっそうの市民サービス切り捨てにつながる「第4次行革」 一旦白紙に戻し、市民的論議を

摂津市は、今のままでは2015年度には早期健全化団体になる見込みだから、これを避けるために第4次行財政実施計画(今後5年間の計画)を推進しようとしています。これまで摂津市では12年間の「行革」で144億円の財政効果をあげたと説明していますが、同じ12年間で、市の公共料金値上げによって161億円の負担が増やされています。摂津市は3月15日(月)まで、市民からの意見を

受け付け3月中に決定しようとしています。内容は、市民サービスの切り捨て、新たな市民負担の押しつけ、職員を現在719名から660名に減らし、自治体としての仕事を民間にいっそう投げ出していこうとする大変な内容になっています。

市民のみなさんの計画に対する様々な意見を摂津市へ届けましょう。(用紙は自由です)  
< 届け先—摂津市の政策推進課へ >  
FAX 06-6319-5970

税金の使い方を考え、市民の生活を守る市政として声をあげましょ

行革の項目	見直し内容
職員の削減	2009年4/1時点で719名を660名に
市民課窓口業務の一部民間委託	国の指針では「住民票の写しの交付や異動届け」など
ごみ収集業務	現在、3割を民間委託しているがこれを増やす
環境センター	夜間業務の委託
保育所給食の民間委託	2014年度実施に向けた検討
小学校給食の民間委託	鳥飼西小、鳥飼北に続き拡大していく
水道の閉開栓業務	2011年度から実施を
太中浄水場の夜間業務	2010年度から実施
学校公務員の委託	2014年度から実施に向け検討
学童保育	民間委託も視野に検討
交通専従員	民間委託の方向
公共施設の管理指定	指定管理者制度の改定(市民図書館と鳥飼図書センターも検討)
敬老祝い金の見直し	廃止も視野に2012年度実施に向け検討
就学援助金制度の見直し	こども手当等国の制度との整合をはかる
就学資金制度の見直し	公立高校授業料無償化との整合をはかる
私立幼稚園保護者補助金見直し	国制度との整合をはかる
水道料金減免制度見直し	廃止も視野に2012年度実施に向け検討
使用料・保育料等受益者負担の適正化	保育料減免の充実もあるが公共料金の値上げを
使用料等減免制度の見直し	体育施設等の使用料減免制度の見直しを
こども園創設	2012年度べふ保育所をべふ幼稚園に統合する
就学前教育と子育て窓口一元化	保育所・幼稚園・こども園・児童手当・就学援助等申請窓一元化
市税等のコンビニ収納	2010年度軽自動車税、11年度固定資産税・市民税など
国保料のコンビニ収納	2012年度実施に向け
納付催促コールセンター	2010年度から庁内に設置
ふれあいルーム、フォルテ212・2号廃止	コミュニティプラザオープンに伴って
団体補助金の見直し	204年度に策定した指針に基づき精査
(その他)――	・下水道と水道の統合 ・係長職への権限移譲 ・文化スポーツ行政の一元 ・市営葬儀見直し ・環境センター1炉運転